



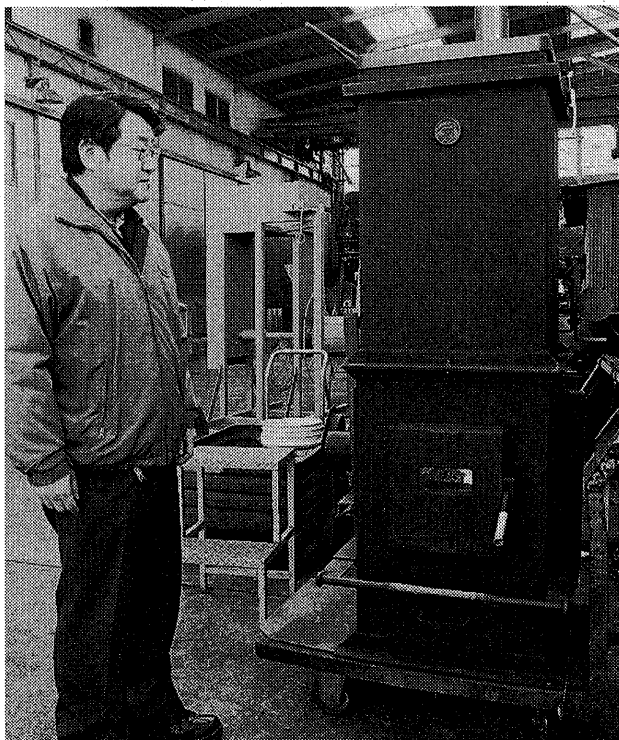
陸前高田 0192(5)
 大船渡支 0192(2)
 釜石支局 0193(2)
 宮古支局 0193(6)
 気仙沼通 0226(2)

販売

田友田沼渡 崎来米石丹居穂こ南石老田本泉川界
 仙船盛 喜田 住 やこ軽
 高小広気大 末越世釜唐鶴大みみ津田山小岩小区

釜石の業者ハウス用ストーブ製作

石村工業が製作した
 ビニールハウス用チップ・まき兼
 用ストーブ



燃焼できる。
 十一月に東京で開かれた展示会に出展。北海道や九州から注文が来ているという。

同社は、廃材を燃料とするストーブを改良し、二〇〇三年からペレット・まき兼用ストーブを販売。現在、累計販売台数が千二百台を超える。

ハウス用ストーブを使用している遠野市上郷町の駒込和男さん(66)は「試作品から性能がよいと感じた。低燃料費と手入れが楽で使いやすい」と魅力を語る。

農家に暖かい相棒

ペレット・まき兼用ストーブを製造販売している釜石市大平町の石村工業(石村真一社長)は、ビニールハウス用のチップ・まき兼用ストーブを製作した。燃料は木質の破砕チップやまきを使い、石油ストーブに比べ、環境面や燃料費の節約などに効果がある。石油高騰で頭を悩ませる農業者の味方として期待は大きい。

燃料は破砕チップ、まき

環境に優しく経済的

ハウス用ストーブは取得している内部の空気が自然な流れと重力で燃料を供給する仕組みで、炭化しながら燃焼するため煙や灰はほとんど出ない。石村社長が遠野市の農業者から依頼を受けて、三月に試作品を製作。改良を重ねて十月に完成した。家庭用のペレットストーブに比べて、熱量は一時間に二万キロと約二倍になり、連続で八時間自動

石村社長は「今年は食に関する問題が相次ぎ、一次産業が脚光を浴びている。岩手の農業は信頼性が高いと思うので農業者の力になれるはず」と期待する。
 ストーブは税別三十八万円。問い合わせは同社(0193・223641)へ。